

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



協議体 モデル活動のご報告

協議体とは地域の情報や課題を共有し解決策を考えたり、解決策が上手くいくか検証する場です。協議体で話し合ったことを検証するため、成和町内会にご協力いただき「ごみ出し（生活支援）」のモデル活動を実施しました。

成和町内会 ごみ出しサポート

令和 8 年 4 月～6 月の期間限定でモデル活動を行いました。

3 件ご相談があり、2 件ごみ出しサポートを行うことになりました。



活動内容	粗大ごみを除く、ごみ出しのお手伝い
対象者	成和地区にお住まいで、70 歳以上の方がいる世帯
利用料	無料
活動の流れ	成和町内会での生活支援(支援の流れ) <pre> graph TD A[依頼者] -- ①連絡・相談 --> B[生活支援コーディネーター
(社協)] B -- ②依頼内容の聞き取り・現地確認 --> A B -- ③情報提供 --> C[町内会] C -- ④調整・依頼 --> D[ボランティア] D -- ⑤ごみ出し支援 --> A </pre> ① ごみ出し支援を希望する方(依頼者)は生活支援コーディネーター(社協)に連絡・相談する。 ② 生活支援コーディネーターは依頼者宅に出向き、依頼内容の聞き取りや現地確認をする。 ③ 生活支援コーディネーターは町内会に依頼者の情報を提供する。 ④ 町内会でごみ出しに協力いただける方(ボランティア)を調整する。 ⑤ ごみ出し日に、ボランティアがごみを出す。
その他	ごみの分別や袋詰めはご自身やご家族、ヘルパー支援で対応いただき、ごみ出しサポートでは自宅前から集積場までごみを運ぶお手伝いをする。

地域性の異なる町内会でもモデル活動を実施し、志免町全体での取組を検討していく予定としております。お声かけした際にはご協力を何卒よろしくお願いいたします。

令和 8 年度前期 活動報告

令和 8 年 4 月～令和 8 年 9 月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。

ふくしのまちづくりプロジェクト

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。



別府三町内会

町内会役員の交代に伴い、新町内会長にも今までの経緯やアンケート結果等をお伝えし、プロジェクトを再開しました。

【生活支援について】

別府三町内会にお住まいの方で仕事として請け負う人が出てきたことや、内容によっては町内会青年部が対応できることから、相談内容に応じてそれぞれに繋ぐことになりました。



【買い物について】

アンケートでは困りごととしてあげた方が多かったですが、買い物に困っていると直接相談を受けることはないそうです。そのため、実際に利用する人がどのくらいいるのか等を調査することになり、現在、買い物支援に特化したアンケートを実施中です。

また、町内の商店を活用して、買い物支援を兼ねた居場所活動を検討できないかもあわせて検討しています。

桜丘南町内会「災害支援とも連動した見守りネットワーク活動の推進」

桜丘南町内会は高齢化率が 41.5%（令和 8 年 4 月現在）と、志免町の 30 町内会の中で 2 番目に高齢化率が高く、見守りネットワークの構築が重要な課題の一つとなっており、役員及び組長、副組長等で連携した活動を展開されています。

毎年勉強会を行っており、社協からも隣近所のつながりや顔の見える関係構築の重要性、災害時に実際にあった助け合いの活動事例等について説明させていただきました。

町内会長からは「見守りや災害時支援はつながっている。『助けて』と言える間柄の地域を目指したい」とのお話もあり、日々活動に取り組まれています。



福祉推進委員会議「多世代交流と将来の担い手とのつながりづくり」

4月23日、福祉推進委員会議を開催しました。

会議では各町内会の取り組み等について、毎回、意見交換を行っています。今回は「多世代交流と将来の担い手とのつながりづくり」をテーマにお話を伺いました。



意見交換会でのご意見（一部抜粋）

【つながりづくり】

- ・食事や遊びの要素を行事に入れている。
- ・消防団にも声かけし、若い世代の協力を得ている。
- ・各部の役割を見直し、特定の人に負担がかからないようにしている。
- ・子どもだけでなく、親子で参加できるような行事内容と日程調整を行っている。
- ・公民館で大人が子供に宿題を教えており、世代間交流を図っている。

【世代間交流行事の例】

餅つき、バーベキュー、昔あそび、ぜんざい会、かるた大会、七夕会、クッキング、どんと焼き、落ち葉掃きと焼き芋会、ラジオ体操、軽スポーツ大会、秋祭り 等

四者合同研修会「多世代が共にささえあう地域を目指して」



7月14日、「多世代が共にささえあう地域を目指して」と題して、四者（町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社協役員）の方々を対象に研修会を行いました。

講師に筑紫女学園大学の大西良准教授をお迎えし、格差社会の現状、地域とのつながりの希薄化、核家族化による家族機能の脆弱化などの問題提起から、居場所活動の役割や世代間のつながりづくりの重要性、依存的自立（自分の気持ちを人に伝え、色々な人に頼り

ながら生きること）、アタッチメント（人が不安や恐怖を感じた際に特定の他者に接近し、安心感を得るための本能的な行動システム）の考え方等についてご講義いただきました。

参加者からの感想（一部抜粋）

- ・社会における人と人との縁の必要性を改めて思い出された。
- ・居場所＝アタッチメントが得られる場所になっていることを改めて確認できた。
- ・大人こそアタッチメントが必要。大人の意識が変わらないと意識は変わっていかないと。関わり続けることが大事ということをおのりにも伝えたいと思います。
- ・依存先を増やすことが自立につながるということが驚きと共に納得できる内容でした。
- ・人間関係の複雑化などで他人と気軽に付き合いづらい社会ですが、より出会いができる社会になれば良いと思います。

志免町の居場所事例集 更新（2年に1回更新しています）

町内会や団体、事業所などが行っている居場所活動の情報を更新しました。
新たに始まった活動や、事業所が行っている活動を一部ご紹介します。
その他詳細は居場所事例集をご覧ください。生活支援コーディネーター
までお尋ねください。



居場所事例集は
こちらから ↑

成和町内会 「にこにこカフェ」

日時	第2・4月曜 13時～15時
場所	成和公民館
対象者	どなたでも参加可
参加費	100円



にこにこカフェの記事は
こちらから ↑

東区町内会「グラウンドゴルフと茶話会」

日時	毎週火・木曜 10時～12時
場所	志免東公園グラウンド
対象者	東区町内会に加入している方
参加費	無料



グラウンドゴルフと茶話会の
記事はこちらから ↑

子ども食堂 Le Lien（ルリアン）

日時	平日 15時～18時
場所	カフェ LeLien
対象者	主に小学生（校区は問わない）
参加費	小学生以下：無料 中学生以上：500円



子ども食堂 LeLien の
記事はこちらから ↑

子ども食堂 博多一葉

日時	毎週木曜 15時～17時30分
場所	博多一葉
対象者	小学生以下（校区は問わない）
参加費	無料



子ども食堂 博多一葉の
記事はこちらから ↑

生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、
地域での支え合い活動を広める役割を担っています。
介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいき
いきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体
などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。
志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011